



基礎研究医養成プログラム主催 シンポジウムのご報告

世界で活躍する順天堂卒業生！ 海外研究留学とキャリア形成

2017年1月6日(金) 18:00-20:00に、センチュリータワー北405、406講義室において、当プログラム主催、順天堂大学医学部、大学院医学研究科、国際交流センターの共催により、「世界で活躍する順天堂卒業生！ー海外研究留学とキャリア形成」を開催しました。

海外でキャリアを伸ばす：異文化との融合とグローバルな視野の確立

■講師 Yoshihiro Miwa Associate Chair & Founding Director Center for Interdisciplinary Cardiovascular Sciences Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School **相川 真範** 先生

ハーバード大学ブリガムアンドウィメンズ病院 心臓血管学研究所 所長としてご活躍中の相川先生が、この講演のためにアメリカからお越し下さいました。外向き指向により留学の機会を自ら求め、異文化に学び、自らの良いところと融合し、真にグローバルな視野を育成することの大切さを教えてくださいました。

MDアンダーソン癌センターへの留学を終えて

■講師 順天堂大学医学部 乳腺・内分泌外科 准教授 **中井 克也** 先生

平成26年4月～平成28年8月まで、医師として基礎系の研究室にご留学されたご経験をお話いただきました。学生の皆さんには、サイエンスを学び、よい医師になるための知恵を身につけて欲しいとのことでした。

実りある海外研修のためのTips

■講師 臨床検査医学講座・次世代血液検査医学講座 特任教授 **田部 陽子** 先生

留学プログラムとその手続についてと留学の実際の様子をお教えいただきました。留学を成功させるためには、1. 目標を明確に持ち、2. 情報収集を行い、3. 語学力を身につけ、4. 順天堂大学での学業に励むことだということです。

講演者と研究留学体験学生によるパネルディスカッション

基礎研究医養成プログラムに所属の研究留学を行ったことのある学生の代表として、医学部5年 **山田 泰平** 君、4年 **泉 宜秀** 君、3年 **松崎 紘佑** 君が自らの留学体験をもとに、さらに積極的に留学をすべきかどうか、どういったところに留学すべきか、英語力についてなど、講演者の先生方とディスカッションしてくれました。

2017.1.6



新潟大学 連携セミナー

2017年1月13日(金) 18:00-20:00に、センチュリータワー北406講義室において、当プログラム主催、順天堂大学大学院医学研究科後援により、第3回目となる新潟大学連携セミナーを開催しました。

神経病理学って何？

■講師 新潟大学 脳研究所 病理学分野/脳疾患標本資源解析 教授 **柿田 明美** 先生

一つの症例をテーマとして、講義室を動き回りながら、大変分かりやすいお話をしていただき、参加者からこういう講義をもっと聞いてみたいという感想をいただきました。

神経解剖学を活かした神経発生および神経変性疾患研究

■講師 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 教授 **竹林 浩秀** 先生

先生が研究を志したきっかけから、これまでの研究者としての道のりを研究内容とともにお話していただきました。参加者からは、研究者として活躍されている先生にも駆け出しの頃があったことを知ることは、自分の研究の励みになるとの感想をいただきました。

2017.1.13



基礎研究医養成プログラム 所属学生による研究発表会

新潟大学連携 合同研究発表会

2017年1月13日(金) 17:00-18:00に、センチュリータワー北405講義室において、当プログラム主催、順天堂大学大学院医学研究科後援により、新潟大学連携合同研究発表会を開催しました。新潟大学から教員2名、医学部3年生6名がご参加くださり、当プログラム所属学生12名がポスターにて研究内容を紹介しました。参加者からは、他大学の学生との良い交流の機会になった、他の人がどんな研究を行っているのか知る良い機会になったなどの感想をいただきました。今後も、継続してこのような研究発表会を行っていききたいと思います。

2017.1.13



基礎研究医養成プログラム 所属学生の活動報告

国内学会発表

第75回日本公衆衛生学会総会にて、4年生の井神健太君、西郷吉征君、西野枝里子さんが研究成果を発表しました

2016.10.26~28

2016年10月26日~28日に大阪(グランフロント大阪)で開催された第75回日本公衆衛生学会総会で、4年生の井神健太君、西郷吉征君、西野枝里子さんが研究成果の口頭発表を行いました。発表題目は、井神君「壮年世代における家族構成と高血圧との関連：東温スタディ」、西郷君「強度別身体活動量と動脈硬化との関連：東温スタディ」、西野さん「教育歴とインスリン抵抗性との関連：東温スタディ」です。



第45回日本免疫学会学術集会にて、4年生の畑山知輝君、本間雄貴君、渡邊大貴君が研究成果を発表しました

2016.12.5~7

2016年12月5日~7日に沖縄(沖縄コンベンションセンター、ラグナガーデンホテル)で開催された第45回日本免疫学会学術集会で、4年生の畑山知輝君、本間雄貴君、渡邊大貴君が研究成果のポスター発表を行いました。発表題目は、畑山君「Ceramide-CD300f interaction inhibits Mrgprb2-mediated pseudo-allergic drug reactions in mice」、本間君「Notch signaling induces expression of MHC class II and CX3CR1 on mast cells」、渡邊君「CD300f suppresses LPS-induced skin inflammation」です。



基礎研究医養成プログラム ランチタイムセミナーのご報告

血管外科専門医の基礎研究：あぶら、動脈硬化、手術

■講師 東京大学医学部附属病院 血管外科 助教 赤木 大輔 先生

2016年11月30日(水)に、東京大学医学部附属病院血管外科 助教 赤木 大輔 先生によるセミナーを開催しました。「血管外科専門医の基礎研究：あぶら、動脈硬化、手術」というタイトルのもと、血管外科で扱う内容・手術から、臨床とつながる研究、カリフォルニア大学サンフランシスコ校に留学された際に行われた基礎研究についてなど幅広くお話いただきました。外科医として臨床経験も積まれながら、基礎研究も行っている先生のお話を聞くことができ、参加者からも自分の将来を考える上で非常に参考になったとの感想をいただきました。

2016.11.30



患者様の診療に携わる内科医が、研究者になる

～代謝や分化を制御する転写調節機構の解明をめざして～

■講師 群馬大学 生体調節研究所 教授 稲垣 毅 先生

2017年1月31日(火)に、群馬大学生体調節研究所 教授 稲垣 毅 先生による「患者様の診療に携わる内科医が、研究者になる：代謝や分化を制御する転写調節機構の解明をめざして」と題したセミナーを開催しました。どのようにして研究の道に進まれたのか、研修医時代、ご留学中、帰国後と、その時々々の研究内容を含め、研究の醍醐味、研究の意義、留学の意義などについて分かりやすくお話いただきました。参加者からも研究者としてのやりがいや心構えが非常によく分かる大変有意義なセミナーであったとの感想を多数いただきました。

2017.1.31



基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成24年度 文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39大学申請、10大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

基礎研究医養成プログラム室 (03-5802-1537、内線 3486)